

二中プライド

大丈夫 自分を信じよう

小平第二中学校便り10月号
令和4年10月3日発行
小平市立小平第二中学校
文責 校長 吉田 功

学校公式
ホームページ



耳目

9月14日（水）から9月16日（金）の3日間、3年生が北陸に修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、本校としては2年ぶりの修学旅行、そして、3年生にとっては、入学後初めての宿泊行事でした。保護者の皆さま、コロナ禍で不安がありながら生徒たちを送り出していただき感謝いたします。本当にありがとうございました。

さて、9月15日（木）午後から北校舎・南校舎の水道が断水状態又は非常に出にくい状態となりました。大変なご迷惑とご心配をお掛けしましたことお詫び申し上げます。原因につきましては、北校舎の揚水ポンプの故障、それに伴う警告板の誤動作によることが判明いたしました。現在、北校舎の揚水ポンプの更新を進めております。何とぞご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

【副校長 西 伸一郎】

前期学校評価の結果から

校長 吉田 功

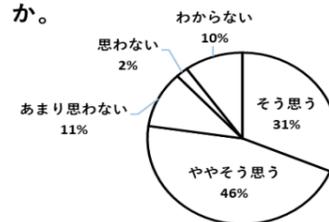
「暑さ寒さも彼岸まで」ということわざのとおり過ごしやすい気候になってきました。秋晴れの日は本当にさわやかに感じます。先月14日から北陸方面に出かけた3年生の修学旅行は、無事終えることができました。訪問先はどこも素晴らしく、個人的にもまた行ってみたいと思うところばかりでした。今月は、G組マラソン大会、合唱コンクールなどの行事が控えています。こちらも成功させたいと願っています。

さて、先月行いました前期学校評価について、このたび集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。昨年度まで学校評価の保護者アンケートは年1回実施していましたが、今年度からは、できるだけ早い時期に保護者の方の考えを知り、それを学校経営に反映させていく観点から年2回実施するようにいたしました。

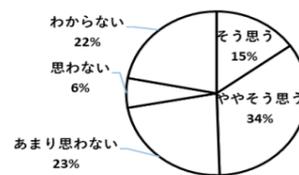
集計結果を概観してみると、学校だより等のデジタル配信や感染症予防対策など見やすく、わかりやすい項目については、おおむね良い評価を得ることができました。一方で、悩みごとを学校に時間差なく相談できる「相談フォーム」や長期欠席生徒への学習支援を念頭に置いた「学習支援サイト eboard（イーボード）」などについては、認知度が低く、「わからない」という回答が多くありました。今後は、情報発信に努め、できるだけ状況を知っていただいた上で、判断していただけるように努めてまいります。そして、この機会に改めて知っていただけたらと思います。

あと、意見要望欄ではたくさんの励ましの言葉をいただきました。引き続き、努力してまいります。それとともに学校での教育活動について正しく理解していただけるよう情報発信を強化してまいります。いただいた課題については校内で改善策を検討し、すぐに実施してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

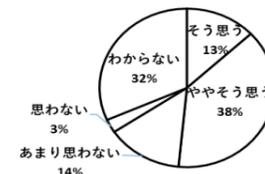
学校は、保護者・地域の方々と協力して教育活動を進めていると思われませんか。



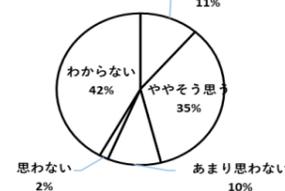
学校は、導入された情報端末（CHROME BOOK）を適切に学習指導に役立てていると思われませんか。



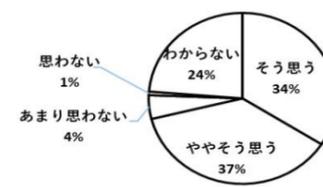
学校は、生活アンケートを実施し、お子さんの話を聞く機会を十分に設けていると思われませんか。



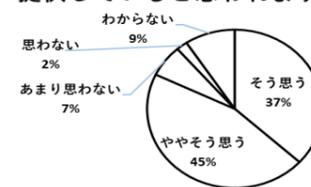
学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応をしていると思われませんか。



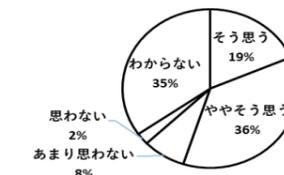
学校は、学校公開等での授業参観の際、わかりやすい授業をしていたと思われませんか。



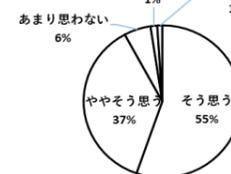
学校は、適切に感染症予防対策と保健指導を行い、安全・安心な学習環境を提供していると思われませんか。



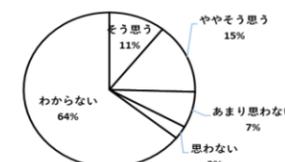
学校は、相談フォームをホームページ上に設置し、関係職員につなげられるようにしていると思われませんか。



学校は、学校だより等をデジタル配信して紙資源の削減に取り組んでいると思われませんか。



学校は、長期欠席生徒に対し、学校支援サイト（EBOARD）を準備し、学習する機会を提供していると思われませんか。



修学旅行を終えて

3 学年主任 江口 清哉

2泊3日の修学旅行を無事に終えることができました。コロナ禍により、スキー教室が中止になってしまい、この学年のメンバーで初めての宿泊行事でした。1日目、A・C組は世界遺産白川郷へ向かいました。その歴史や文化、街並み、自然の美しさに感動を覚えていました。B・D・E・G組は能登島に向かい、のとしま水族館を見学しました。神秘的な施設や海の生き物との触れ合いを通して楽しんでいました。2日目、兼六園を現地の高校生にガイドをしてもらいながら見学しました。また、午後は金沢市内を班行動で回りました。班で協力しながら行動できていました。3日目は福井恐竜博物館へ。施設の壮さに驚き、興奮している生徒がたくさんいました。あまりにも夢中になりすぎて迷子になりかけた生徒もいました。この3日間、3年生の輝く姿がたくさんありました。実行委員を中心にしっかり準備してきた証拠であり、保護者の皆様のご協力の賜物であり、現地の方々の温かいおもてなしのおかげでもあります。多くの人に感謝するとともに、自分たちのこの輝かしい思い出をいつまでも大切にしてほしいというのが教員としての思いです。本当によく頑張りました。保護者の皆様にも改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。



合唱コンクールに向けて

文化行事担当 久松 麻紀子

本年度の合唱コンクールは、3年ぶりに全校一斉、保護者参観ありでの開催となります。活動に制限のある中ながら、生徒たちは精一杯練習を重ねています。当日は、練習の成果を発揮できるよう、各クラスが心をひとつにして、世界にひとつだけのハーモニーを奏でてくれることとします。ぜひルネこだいらの大ホールへお越しください。

保護者の方におかれましては、『1家庭1名』、『学年完全入れ替え制』での実施となるため、スムーズな入れ替えや座席の消毒、入館シールおよび名札の着用などにご協力いただくことになるかと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



G組 マラソン大会に向けて

G組主任 高寺 徹

G組は、10月6日(木) 国営昭和記念公園で『多摩地区特別支援教育研究会(通称:多摩特研)マラソン大会』に出場します。多摩特研のマラソン大会には、多摩地区の特別支援学級(総勢65校、およそ1,500人)が集まって、ほとんどの生徒が2,000m(一部600m)を走ります。G組では、夏休み明けから朝練習、体育の授業で2,000mや12分間走を行っています。令和元年度以来、3年ぶりのマラソン大会、一人一人全力で走ってきます。応援よろしくお願いします。



生徒会本部役員選挙

生徒会担当 吉高 詠美子

9月21日(水)に、生徒会本部役員選挙の立会演説会を行いました。新型コロナウイルス感染予防のため、3年連続でリモートでの開催となりましたが、立候補者たちの「二中をよりよくしたい!」という精一杯の思いをテレビを通じて全校生徒へ伝えられたと思います。

今年は生徒会本部役員・専門委員長、合わせて27人が立候補しました。何人かの立候補の理由として「3年生の委員長の姿に憧れて」と言っていたことが印象的で、二中の伝統はどのように引き継がれていくのだなと感じました。

そして、選挙をスムーズに進めるために選挙管理委員の生徒たちは4月から準備を始め、選挙をより知ってもらうためのスライドづくりにも力を注ぎました。また、立会演説会当日は小平市選挙管理委員会から本物の投票箱をお借りして、投票を行いました。

立候補者と応援者だけでなく、選挙に参加する全校生徒の協力があったからこそ、無事に選挙を終えることができました。当選したメンバーには、二中の伝統を守りつつ、より良いものにしてほしいと思います。

